

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	西部県民センター	氏名	伊路見 真琴
派遣先 団体名	特定非営利活動法人 <small>いわみや</small> 石見の家		
<p>【活動内容】</p> <p>地域密着型通所介護（デイサービス）、居宅介護支援事業 “住み慣れた地域（ちげ）で、自分らしく暮らせるよう介護等のお手伝いを行う”</p> <p>① 研修の日時 平成24年10月2日（火） 14:00～15:15（事前打ち合わせ） 平成24年10月10日（水）、16日（火）、26日（金）、29日（月）、11月8日（木） 計5日間 8:30～17:15</p> <p>② 研修の内容（できるだけ詳しく記載してください。） デイホームまったりにてデイサービス事業を体験 主な1日の流れ 8:00～利用者お迎え 9:00～健康チェック（血圧、脈拍、体温測定） 9:30～機能訓練（体操、散歩、歌、タオルたたみなど） 10:00～お茶 12:00～食事、口腔ケア 13:00～お昼寝、連絡帳記入 14:00～レクリエーション 15:00～おやつ 16:00～利用者お見送り 17:00～掃除、申し送り事項の確認</p> <p>③ 研修の感想 （研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想（研修前後における意識の変化）等について記入してください。） 職員の方と同様に利用者の方と接する機会を設けていただいたことで、大変力不足ではあったが私自身も“デイホームまったりの職員”として働かせていただいた気がした。 その中で、入浴介助や排泄介助などの介助技術も重要だが、おしゃべりなど利用者の方との関わり合いが最も重要であると教わった。「例え、素晴らしい介助技術を持っていたとしても、そこに信頼関係がなければ、自らの身を任すことはできない。会話もしたことがない人に介助してもらいたい。反対に、介助の技術があまり高くなくても、そこに信頼関係が築かれてい</p>			

れば、多少の失敗も笑いに変わる。」という一言は強く印象に残った。職員の方は利用者の方の様々な変化に気を払われ、日頃から話題集めなどに努力されていた。その姿を目の当たりにしたときは、職種は違えど学ぶべき点は山のようにあると感じた。

一方で他の介護施設などでは、関わりあいを重視する気持ちを持っていても、事業の継続性や賃金などの問題から、効率性や収益性を重視せざるを得ず、このような部分が疎かになってしまうことが少なくないと聞いた。私たち行政の職員は、こういった思いを持った団体がその思いの通りに活動できる環境を整える必要があると感じた。

和田理事長はじめ、職員の皆様には、大変お忙しいなか、介護経験の無い私を快く迎え大変感謝しております。私自身も利用者の方との触れ合いの中で、“楽しさ”を実感出来たことが大変うれしく思います。

④ その他特記事項

(※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)

(注1) 研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2) 研修終了後、報告会を開催します。